

リンゴ病

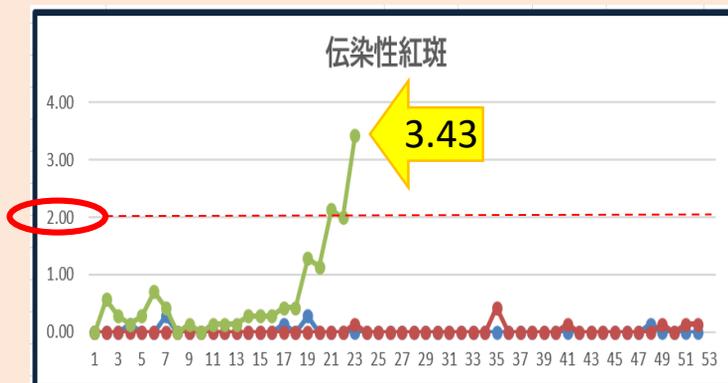


# でんせんせいこうはん 伝染性紅斑

## が流行しています！

### 流行状況

定点医療機関あたりの患者数が、2025年21週から警戒レベル「2.0」を超え、23週も「**3.43**」と警戒レベルを超えて継続しています。



### 伝染性紅斑とは

ヒトパルボウイルスB19による感染症で、小児を中心にみられる発しん性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

多くの場合、頬に発しんが出現する7~10日くらい前に、微熱やかぜのような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなりますが、発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。

### 症状

#### 微熱



#### 風邪のような症状



#### 両頬の紅斑



### \*妊娠中又は妊娠の可能性のある方へ

これまで伝染性紅斑に感染したことがない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や流産のリスクとなる場合があります。

伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。

### 予防方法

#### マスク・手洗い

マスクの着用や流水と石鹸による手洗いをしっかりしましょう。

#### 共有しない

タオルや食器は共用しないようにしましょう。

症状がある場合は、早めに**医療機関を受診**しましょう。